

2019

レース結果報告書

アジアロードレース選手権 第3戦



DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング

アジア選手権・レース結果

Race

ワイルドカードでスポット参戦したアジア選手権鈴鹿ラウンド。AP250クラスに谷本音虹郎選手、SS600クラスに豊島怜選手が参戦。谷本は2週間前の鈴鹿4時間耐久でマシンセットは纏まっていたが普段使っているものと違うECUのセットアップに時間が足りずマシンスピード的には厳しい状況でした。それでも谷本は走りでのハンデを埋める頑張りを見せ、何度もコーナーで追い抜きアジア勢を追い詰め、ワイルドカード組を抑え込む強い走りを見せてくれました。また豊島はトラクションコントロール無しの旧型マシンでのチャレンジですが、一つでも前を狙うために攻めの走りを見せてくれました。その意気込みから金曜日の走行で大転倒を喫してしまいマシンを大破してしまい、スペアマシンでぶっつけの予選、そして決勝に臨むことになりましたが、最後まで攻め切ってくれた姿勢に成長を感じることが出来ました。その二人のレース結果をご報告いたします。

名トンベイ：アジア選手権 第3戦 日本大会(鈴鹿)

開催日：2019年6月30日

果結スーレ：	AP250 #13 谷本音虹郎	予選19位、決勝1-18位	決勝2-9位
	SS600 #18 豊島怜	予選19位、決勝1-リタイヤ	決勝2-14位



アジア選手権AP250・谷本音虹郎

Race

金曜日のフリープラクティスはドライコンディションでテストすることが出来、ベストタイム 2分32秒501を記録。車両がAP仕様になってから初の走行でした。フロントホイールが軽くなったことによりフロントの接地感が少なくなり今までの走行をすることができなくなったので、2本目からは元のホイールに戻して走行しました。また、前回のJP4耐からリアの車高を上げて走行しました。ベストタイムはスリップを使って出したタイムですが、3本目では、単独でも33秒台で周回することができました。

土曜日は心配された雨もなくドライコンディションで予選と決勝1が行われ、公式予選は2分33秒108を記録して19位となりました。予選は他のライダーのスリップを使ってタイムを出そうとしたのですがJP250の予選以上に他のライダーを待つことが多く、待ちきれなくなりうまく集団に入ることができませんでした。ベストタイムも更新することができず、悔しい予選になりました。

レース1：18位 タイム 2分31秒994

スタートを失敗してしまい順位を落としたのですが、1、2コーナーで巻き返すことができ、元の順位に戻ることができました。その後スプーンカーブで2台前のライダーが接触転倒してしまい集団が分かれてしまって笠井選手と2人のバトルになりました。最終ラップの最終シケインで勝負しようと思ったのですが、うまく抜くことで出来ず18位という結果になりました。

レース2：9位 タイム 2分44秒819

日曜日はついに雨が降ってきてしまいウェットコンディションのレースとなりました。スタートも決まり東コースで何台か抜き1周目を14位でレースを進めることができました。その4台でのバトルとなり最終ラップのスプーンコーナーで集団の先頭に出ることができたのですが、バックストレート、130Rの立ち上がりで2台に抜かれてしまい9位でレースを終えました。

シングルフィニッシュすることができたのは良かったのですが、目標であったヤマハ勢トップを達成することができず悔しい結果になりました。まだまだ予選や最後ラップの駆け引きが甘かったので、そこを次戦改善できるよう頑張ります。

アジア選手権SS600・豊島怜

Race

普段使用しているタイヤと違うアジア選手権に臨む為にマシンセットなどを見直し、フリープラクティスに臨みました。序盤から攻めの姿勢でプッシュしていきましたが、軟らかめに振ったマシンセットの為、ヘアピンコーナー手前の110Rでフロントからスリップダウンして転倒しマシンを大破させてしまいました。幸い怪我3本目の走行に向けチームはスペアマシンを仕上げてくれましたが、急ごしらえのマシンの為マイナートラブルが出てしまい2周目にマシンを止めることになってしまい十分なセットアップが出来ないまま予選に臨むことになりました。

公式予選では30分の時間を使ってマシンセットに努め、徐々にタイムを詰めてゆきますが時間が足りず自己ベストには程遠い2分16秒で総合19位のポジションとなってしまいました。

午後に行われたレース1はドライコンディション、スタート直後の出足は良かったのですが1コーナーで位置取りを失敗してしまいポジションを上げることが出来ませんでした。周回を重ねるごとに順位を上げ、追い上げの展開。アジア選手権は周回数が少ないので気を抜く暇もなくプッシュを続け、ラストラップも少し離れた12位のライダーを追い抜こうとプッシュした結果ヘアピンコーナーでスリップダウンしてしまいチェッカーを受けることが出来ませんでした。

今回の転倒はマシンのダメージも少なく、翌日のフリー走行でマシンチェックを済ませて午後の決勝に臨みました。昼から降り始めた雨によりレース2はレインコンディション。スタートからアジアの選手達のペースが上がらない中、猛プッシュし1周目で14位、2周目に入り10位まで追い上げた所で豪雨により赤旗中断となってしまいました。赤旗中断後の再スタートされたレースではペースを上げる事ができずに15位でチェッカーを受けました。

今回のレースは、フリープラクティスの転倒で流れが悪くなってしまいました。ただ、アジアのライダーとのバトルは刺激になりましたし、レインコンディションの走りもかなり自信がついたので、全日本後半戦に向け、サマーブレイク中に課題を消化しレベルアップしていきたいと思います。

今回、アジア選手権への参戦にあたりチームやスポンサー各位に感謝しています。

マシンを修復してくれたチーム、スポンサー各位、応援して下さった皆様ありがとうございました。

代表コメント

Ofisyaru Comment

今年のアジア選手権へのスポット参戦は例年のAP250に加えSS600にも参戦する事が出来ました。谷本はアジア選手権初挑戦。豊島もSS600では初参戦となります。

日本のレースよりも生き残りが熾烈なアジアの国々から選ばれた選手達とイコールコンディションのルールの中で谷本と豊島がどう戦うのか、何を感じてくれるのか、そして全日本で培ってきたものがどこまで通じるのか、腕試しの戦いとなりました。

谷本はイコールといってもマシンの部分で若干のハンデがあり、更に統一されたECUのセットアップにも後れを取ってしまった為とても厳しい条件の中での戦いでしたが、諦めないファイティングスピリットと誰よりも速いコーナリングを武器にアジア勢に臨みました。今回敗れた悔しさは谷本を更に成長させてくれると信じています。

豊島は全日本では若干のハンデがある中で戦ってきましたがアジアではイコールコンディションです。腕試しの中間テストでしたが金曜日の転倒で力を出し切る事が出来ないままウイークを終えてしまったことは非常に残念ですが、豊島に感じていたファイティングスピリットの減少を、このウイークで再び感じる事が出来ました。まだまだ未熟でアジア勢や同じワイルドカード組にも大きく後れを取ってしまいましたが、この大会を機に吹っ切れた豊島の後半戦が楽しみです。

今回のスポット参戦にあたりご支援ご協力を頂きましたスポンサー及び関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また天候不順の中駆けつけて頂きましたファンの皆様、WEBから激励を送って頂いた皆々様、応援ありがとうございました。次戦まで暫くインターバルが有りますが、戦いは既にスタートしています。後半戦に向けチーム一丸突き進んで参ります。

ドッグファイトレーシング
代表 室井秀明

スポンサー

Sponsor

Sponsor



竹中興運

Nakano Co., Ltd.



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。次戦も頑張ります！



ギャラリー

Gallery

